



座間小キャラクター
ざまたん

校長のつぼやき^{ぶ?}

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちょっとずつ、つづやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれませんが。なのでつぼやき…。

歯科検診と歯科授業

6月16日。学校医の先生に歯科検診をしていただきました。尾崎先生と西村先生です。尾崎先生には35年以上、本校の子どもたちの歯を診ていただいています。白髪と白髭のダンディーな先生です。お二人の先生に、朝から午後までかかって800人の子どもたちを全員診ていただきました。気の遠くなる作業です。

子どもたちの持ち物は歯磨きセット。健診の後に、衛生士の方に一人ひとり歯の磨き方も指導していただきました。



後日、歯科授業も行っていました。毎年3年生が対象です。3年生は歯と脳の発達段階から、歯について学ぶのに適した年齢だそうです。理解力も高まり、歯が抜けかわる頃なので、自分の歯に関心が高まる頃とのこと。抜けかけの乳歯を、舌でいじっていたりしますよね。



よくかむことの効果は、歯並びがよくなる、むし歯になりにくい、体と筋肉が丈夫になる、運動神経がよくなる、表情がよくなる、消化がよくなる、病気になりにくくなる、脳がよく働く…などいいことづくし。

子どもたちは、よくかむことの大切さを具体的に教えていただくと、その場でなにやらモグモグ モグモグ…。

授業の最後は、恒例のマンモスの歯の登場です。先生が所有している貴重なものです。角ではありません。「草食だから臭いをかぐと草のにおいがするよ」と言われてくんくんかいていました。いい匂いではなさそうです。

1本だけでも、実際に持ってみるとずっしりとしていて、体の大きさが想像できます。



給食時には、カミカミタイムがあります。おしゃべりをやめて、しっかりかむ時間です。

今までなんとなくやっていたカミカミタイムが、急に大事な時間になったのではないのでしょうか。意味を知って大事です。



私もしっかりかんで、残っている歯を大事にしたいと思います。